

(一社) 北海道中小企業家同友会 くしろ支部第2回定時総会報告書

2017年4月25日(火) 18:20~21:15
於: 釧路プリンスホテル

くしろ支部会員の皆さま

下記の通りくしろ支部第2回定時総会報告をいたします。

(すべての議案で承認されました)

■日時・会場: 2017年4月25日(火) 18:20~19:40 於: 釧路プリンスホテル

<司 会> 高橋工業・高橋社長(別海地区会)

<次 第>

- ①開会挨拶: (一社) 北海道中小企業家同友会 くしろ支部 支部長 石橋 榮紀氏
- ②2017年度北海道同友会活動方針説明: (一社) 北海道中小企業家同友会 副代表理事 曾根 一氏
- ③議長選出: 浜中運輸・赤石社長(ルパン浜中地区会)が選出されました。
- ④総会参加 80名、委任状 387名 合計で 467名の参加となり、支部会員(684名)の過半数に達し、議長より総会成立が宣言されました。
- ⑤議案第1号 2016年度活動報告: 雨宮副支部長(南しれとこ地区会)
- ⑥議案第2号 2016年度決算報告: 曾我部幹事長(釧路地区会)
会計監査報告 北山会計監査から会計監査報告がありました。
- ⑦議案第3号 山口役員選考委員長(別海地区会)より 2017年度役員を選考結果の報告が行われました。
- ⑧議案第1号~第3号の採決が行われ、満場一致で承認されました。
<休憩 第1回幹事会開催、支部長以下の役職者が互選で選出>
- ⑨第1回幹事会報告が事務局より行われました。
- ⑩議案第4号 2017年度活動方針(案)の提案: 長江新支部長(釧路地区会)
- ⑪各地区会からの活動計画の報告 8地区会から会長、副会長、幹事長等から報告がありました。
- ⑫議案第5号 2017年度予算(案)の提案: 千葉副幹事長(根室地区会)
- ⑬議案第6号 全道総会代議員の提案: 曾我部幹事長(釧路地区会)
質疑応答は特にありませんでした。
- ⑭議案第4号~6号の採決が行われ、満場一致で承認されました。

〇くしろ支部懇親会 懇親会には97名の方が参加して8地区会の交流が進みました。

司会(サワベスタジオ・澤辺室長)(ルパン浜中地区会)

- ①開会挨拶と乾杯 坂巻副支部長(根室地区会)
- ②道研(ニセコ)の参加要請 曾根副代表理事、くしろ支部役員から参加の呼びかけがありました
- ③閉会挨拶 雨宮副支部長(南しれとこ地区会)から閉会の挨拶が行われました。

Think Small First!

～中小企業は地域と国民生活を支えている～

同友会の3つの目的

1. 同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して、企業の自主的近代化と強靱な経営体質をつくることをめざします。(良い会社をつくろう)
2. 同友会は、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。(良い経営者になろう)
3. 同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく経済・社会・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本と北海道経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。(良い経営環境をつくろう)

同友会の3つの精神

自主・民主・連帯の精神

同友会の目指す企業像

国民や地域と共に歩む中小企業をめざす

同友会が目指す21世紀型企業

1. 自社の存在意義を改めて問い直すとともに、社会的使命感に燃えて事業活動を行い、国民と地域社会からの信頼や期待に高い水準でこたえられる企業。
2. 社員の創意や自主性が十分に発揮できる社風と理念が確立され、労使が共に育ちあい、高まりあいの意欲に燃え活力に満ちた豊かな人間集団としての企業。

同友会の合言葉

1. 知りあい、学びあい、援けあい、共に繁栄を目指しましょう！
2. きばらず、せかず、諦めず、私たちの要望を実現しましょう！
3. 激動をよき友とする経営者になりましょう！

会員間取引の3つの申し合わせ

1. 同じものを買うなら会員企業から。会員にはなるべく安くて良いものを提供する。
2. 率直に希望を出し合い、仕方なくお義理で取引するのはやめ、お互いに利益は保障する。
3. 取引を通じて、会員同士の友情と信頼が一層深まるよう努力する。

=== 式 次 第 ===

18:20 開会

◆開会挨拶

(一社)北海道中小企業家同友会 くしろ支部 支部長 石橋 榮紀

◆北海道中小企業家同友会 2017年度活動方針(案)の報告

(一社)北海道中小企業家同友会 副代表理事 曾根 一 氏

<第1部 定時総会>18:20~19:40

議長の選出

議案第1号 2016年度活動報告

議案第2号 2016年度決算報告

会計監査報告

議案第3号 2017年度役員選出

休憩 第1回幹事会開催

第1回幹事会報告

議案第4号 2017年度活動方針(案)の提案

各地区会からの活動計画の報告

議案第5号 2017年度予算(案)の提案

議案第6号 全道総会代議員の選出

質疑応答

採択

議長退任

<第2部 懇親会>19:50~21:15

・開会挨拶と乾杯

懇 談

道研 PR

・閉会挨拶

一般社団法人北海道中小企業家同友会
2017年度活動方針（案）

中小企業家同友会 3つの目的

1. 同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強靱な経営体質をつくることをめざします。
2. 同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。
3. 同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

北海道中小企業家同友会 基本方針

＜企業づくり＞

1. 経営者と社員が共に学びを深め、激変する経営環境に対応できる企業体質を築こう
2. 経営指針の成文化と実践に取り組もう

＜地域づくり＞

1. 中小企業憲章の精神を広め、全ての自治体に中小企業振興基本条例を制定しよう
2. 会内外の連携を強め、地域経済を活性化し、持続可能な地域をつくろう

＜同友会づくり＞

1. 同友会運動の実践を深め、次世代への円滑な継承をめざそう
2. 全道会員組織率 10%をめざし、組織強化と財政基盤の充実に取り組もう
3. 同友会の原点に立ち戻り、活動をみつめよう

2017 年度 活動の力点

スローガン 「入ってよかった！ 続けてよかった！ おかげで会社がよくなった」

＜企業づくり＞

1. 経営指針の成文化と実践に力を注ぎ、全社が一丸となれる企業づくりを進めます
2. 人材確保に取り組み、社員教育を充実させ、次世代へ事業を継承させる企業づくりを推進します
3. 国内外の新市場・新分野に目を向け、新規事業進出への学びと交流を促進します

＜地域づくり・経営環境づくり＞

1. 中小企業憲章の理念を広め、中小企業振興基本条例の制定、活用を広げます
2. 持続可能な地域をめざし、課題を明確にした学びと交流を推進します
3. 金融・税制問題の学習を進めます

＜同友会づくり＞

1. グループ討論をしっかり位置づけ、例会の充実をはかりましょう
2. 新会員やごぶさた会員も参加しやすい親しみある活動を工夫しましょう
3. 全道会員組織率 10%をめざし、道内のすみずみに同友会のなかまをつくりましょう
4. 役員研修の充実をはかりましょう
5. 事務局員の育成強化につとめましょう
6. 第 34 回全道経営者“共育”研究集会 in NISEKO を成功させましょう
7. 2019 年度の創立 50 周年に向けて準備を開始します

議案第1号 2016年度活動報告

《スローガン》「新たなる旅立ち、根釧の企業家が創る地域の未来」

1. 根釧地域の企業づくりを、会員の知恵の交流で意欲的に進めよう

①2016年度は会員報告率10%を目指して積極的に報告を進めました。釧路地区会では部会、委員会が担当して札幌支部会員を招くなど毎月例会を開催しました。根室地区会は優れた経営実績を持つ地元、他地区会の方を迎えて5回の報告例会を開催しています。別海地区会も地元会員、他地区会会員、専門家など会員の要望に応えながら経営の本質について学びました。南しれとこ地区会は域外に積極的に進出している会員や、新年交礼会で京都同友会の(株)スリーシーの渡邊社長を招くなど経営指針、経営戦略など多彩な活動を行いました。厚岸地区会は釧路公立大学の下山准教授を招いての条例と地域を見直す例会が行われました。摩周地区会は新会員の報告の他に、弟子屈高校の職種説明会などで高校生に対して業界の説明をしました。標茶地区会は初の高校との懇談会を行うなど高校の発展や人材育成などに取り組みました。ルパン浜中地区会は地域を見直そうと根室地区会の条例制定から学び、地域資源の再発見にも取り組みました。

②各地区会の取り組みの結果、部会、同好会などを含め会員92名(重複を除く)が報告し、学びを深めました。新しい辞書の1ページをめくる活動が展開された1年でした。

③釧路地区会では「第3期くすり塾」を開講し、一泊研修を含めた全10講に5社6名が参加。南しれとこ地区会では「経営指針づくり勉強会」(全11講・5名参加)、別海地区会では「経営指針成文化研究会」(全17講・8名参加)を2015年度より継続開催し、経営理念、方針、戦略等を練り上げました。各研究会では、受講生が学びの成果を報告する「経営指針発表会」を開催し、経営者としての姿勢、戦略の見通し等を論議しました。

④くしろ支部経営指針委員会や「全道経営指針委員会道東ブロック会議」を開催し、2016年12月に発刊された「経営指針成文化と実践の手引き」の学習会、各地域の取り組みについて情報交換を行い、経営指針づくりの普及に向けて取り組みました。

⑤会員企業の人材の採用と定着の難しさを受けての求人、教育活動となった1年でした。釧路、根室管内の高校生の就職率も100%近い実績になるなど、求人の環境は厳しさを増しています。さらに大学などの採用では内定辞退も多くなっています。対策として6地区会が高校との懇談会を開催し、釧路地区会では教員の企業見学会、根室、摩周、別海の各地区会で各高校と連携して生徒を対象の職種説明会に会員の方を派遣しています。

幹部大学同窓会でも明輝高校教員との懇談会やグループ討論を2回開催し、幹部社員の新卒への対応や求人活動、学校でのキャリア教育について学びました。

⑥8月10日の合同企業説明会では38社が参加し高校生、大学生など70名が参加しました。

釧路市の委託事業として開催している各大学の教授等の人脈マップは13大学20名となり、

各大学への会員経営者の講師派遣や釧路への大学生の企業見学バスツアー（4大学45名参加）、合同企業説明会の学生誘致の強力な応援団になっています。

合同入社式が別海会場（3社5名）、釧路会場（13社19名）の2カ所で開催され、経営者から辞令の交付を受けました。

- ⑦確保した人材をどのように定着させるかが大きな課題になる中、共育委員会では釧路会場、別海会場で新入社員研修会、コミュニケーション研修会を開催しました。幹部大学では、11社17名が受講し無事全員が終了しました。

釧路地区会の独自の取り組みとしては、「夜の接待マナー研修」を開催し、社員のお客様への接待の心づかいを学びました。3年未満研修会など定着に向けての取り組みも進めました。

- ⑧南しれとこ地区会では、相続・事業承継の見方、考え方について、金融機関（大地みらい信用金庫）から講師を招き、継続的に勉強会を開催しています。事業承継にかかる諸問題をデータで分析した他、親族・親族外承継や、M&Aの事例から学びました。

2. 地域資源の再発見、新しい視点での企業連携で活性化を目指そう

- ①2016年度は残念ながら、「根釧企業連携プロジェクト」の立ち上げには至りませんでした。3月に開催されました釧根経営セミナーでは企業連携での「食」の地域資源活用、ブランドづくりの論議が行われました。2017年度は改めて取り組んでいく予定です。

3. 中小企業振興基本条例は地域の経営指針、制定の支援と実践を深めよう

- ①釧路では、隔月で中小企業円卓会議を開いています。釧路公立大学の下山准教授等の協力を得ながら、観光の経済的波及効果や釧路と帯広の観光における飲食消費と域内循環について比較調査をもとに取り組むべき課題を学びました。また、観光産業に対する中小企業のビジネスチャンスの可能性について提起を受けました。

- ②根室市、中標津町、別海町では、中小企業振興審議会や、部会・検討会議に同友会会員が参画し、中心的役割を果たしています。人材育成支援や設備投資を促す補助制度等の中小企業施策について、経営の現場の声を行政に届け、実際の施策に反映させています。

4. 同友会の持続的な発展と地域の活性化を両輪として活動を展開

- ①3月23日に第4回釧根経営セミナーを浜中で開催し、根釧各地から60名が参加しました。講師のケーズマーケティング 代表取締役の吉川京二氏から、地域の強みを活かした食のブランド化や、お客様目線、モノではなくコトを売るマーケティングのコンサル事例に学び、企業間連携による新たな価値創造の可能性、企業と地域を元気にする秘訣を学びました。

- ②組織委員会では、2014年度に発足した一步の会（学びあい小集団グループ）を4グループで行い、新会員や同友会歴の長い「ベテラン会員」の報告を中心に毎月例会を開催しました。企業経営における悩み、将来展望等が率直に語られ、同友会らしい「互いを知りあう学び」が展開されました。

- ③9月には「第3回 移動全道組織・企画委員会 in くしろ」を開催し、他支部の会員増強に向けた取り組み、非会員参加型交流会「Doyu 交流会」開催状況等について意見交換を行いました。11月に道北あさひかわ支部で開催されたDoyu交流会には、くしろ支部・成澤組織委員長、釧路地区会・乗山組織委員長が参加し、2017年度のくしろ支部でのDoyu交流会開催に向けて準備を進めました。
- ④2017年3月に開催した新会員オリエンテーションには、新会員11名と紹介者、幹事、組織委員が参加しました。くしろ支部 副支部長の長江氏（長江建材（株）・会長）より、自身の体験も含めながら同友会の魅力について報告がありました。交流会では新会員、紹介者のスピーチが行われ、同友会運動への理解と会員間交流を深めました。
- ⑤先輩経営者から学ぶ例会は、別海地区会、一步の会などで開催し、同友会の創業期の熱い思いを語っていただきました。年数を重ねても同友会の理念や創業の想いを受け継いでいきます。
- ⑥2016年度末の会員数は684社です。残念ながら701社の期首を守ることができませんでした。人口減少、企業数の減少など会員増強には厳しい状況が続いていますが、より一層、魅力的な活動を展開しながら同友会の輪を広げていきます。

===くしろ支部 2016 年度活動のまとめ（8 地区会報告）===

《1. 釧路地区会》=====

■スローガン：変えよう地域、企業家の力を結集し元気な地域を取り戻そう

◇まとめ

<企業づくり>

1.（活動方針）会社ぐるみで学びあい、経営体質の強化を図る活動を展開しよう

①釧路地区会例会は下記の通り開催しました。会員の方、専門家の方から理念や情勢、経営戦略まで幅広く学びました。全道の会員の方の元気で、魅力ある経営実践に感動する1年でした。

開催日	報告者	テーマ	参加者数
6月例会 6月2日	(株)ケルプ研究所 代表取締役 福士 宗光氏 (札幌支部会員)	なぜ経営指針は必要なのか ～経営指針との出会いで確信したわが社の 存在意義～	21
7月例会 7月26日	(株)厚岸味覚ターミナル 取締役支配人 加藤 裕之氏 (株)こめしん 常務取締役 中村 敦 氏	わが社の新商品戦略 ～消費者のニーズをこう見る～	30
8月例会 8月4日	(株)宇佐美商会 代表取締役 宇佐美 隆 氏 (札幌支部長)	最悪の事業承継からの出発 ～社員と共に新しい会社作りをめざして～ (みけた会 8月公開例会)	34
9月例会 9月27日	徳武産業(株) 代表取締役会長 十河 孝男氏 (香川同友会会員)	足元に笑顔を届ける会社 ～奇跡を起こしたピンクの靴から学ぶ、喜 びを分かち合う経営～ (みけた会 20周年講演会)	155
10月例会 10月31日	静岡県立大学 地域経営研究セ ンター長 岩崎 邦彦氏 (静岡県)	小規模を「チカラ」に変え、マーケティング に成功する秘訣とは? ※鈴木圭介税理士事務所との共催	90
11月例会 11月8日	(株)三つ星レストランシステム 代表取締役 谷川 富成 氏	釧路から全国へ。レストラン・外食チェー ンで地域一番店を目指す	51
新春講演会	(株)サンコー 代表取締役会長 山田 修三 氏 (札幌支部 全道組織委員長)	同友会から学んだ企業づくり、人づくり	71
2月例会 2月20日	北海道財務局財務事務所 所 長 中島 和正 氏 財務課長 伊藤 秀樹 氏	■日本の財政について ■最近の金融庁の取り組み	21
3月例会 3月14日	(株)ブレンドワークス 代表取締役 前川 裕一 氏 (札幌支部幹事長)	「すすきの」一番のジンギスカン店を目指 して (みけた会 3月公開例会)	47

- ②経営指針成文化研修会では「第3期くすり塾」を開講して10回のグループワークで5社6名が経営理念、経営方針などを練り上げました。3月15日に開催された成果報告会では、経営理念、方針などが発表され、全道経営指針委員会道東ブロック会議で参加していたとかち支部の経営指針委員も交えて、「わかりやすい経営指針を作ろう」「くすり塾で学んで、自社の会議の在り方が変わった」との情報交換や経営指針の重要性が再認識されました。
- ③共同求人活動では8月の合同企業説明会、札幌の各大学との人脈マップ作り、大学生の企業見学ツアー・就職懇談会などを開催し、会員企業の採用意欲や地域の人材づくりを行ってまいりました。入社した社員の定着が社会問題化する中、共育委員会では新入社員研修会、3年未満研修会、接待マナー研修会など開催し、求人委員会と連携して採用から教育・定着までの一貫した人材づくりを行いました。幹部大学同窓会でも明輝高校教員との交流例会2回開催、釧路公立大学の加藤ゼミとの研究など高校、大学との意見交換も活発に開催されました。

<地域づくり>

2. 釧路市中小企業基本条例に基づいた地域づくりを推進しよう

- ①中小企業円卓会議を4回開催し、釧路公立大学の下山准教授による釧路市の観光産業と経済効果の講話と帯広での飲食店調査報告及び釧路市との比較から、観光による地域振興について学びました。
- ②「地域経済を考える懇談会」を4回開催し、企業経営の視点から地域経営を考える問題提起や、釧路市の観光戦略を知る機会、くしろ観光における中小企業のビジネスチャンスについて学びました。
- ③釧路信用組合と「金融仲介機能のベンチマーク」をテーマに金融懇談会を開催し、金融庁の動向、金融機関の今後について企業と金融機関との連携の必要性を学びました。
- ④釧路地区会2月例会では、北海道財務事務所の中島所長、伊藤財務課長より日本の財政、ベンチマークなどの金融庁の取り組みを学びました。

<同友会づくり>

3. 小集団活動を通じて、会員が学びあう同友会らしい活動の原点を見直そう

- ①2014年に発足した小集団活動「1歩の会」は4グループで約50名が登録しています。月例会でお互いの会社紹介や経営の考え方を報告しあいました。新会員を中心にメンバー構成をしていましたが2016年度は歴代の役員や会歴の長い方にも報告いただき、同友会の基本的な考え方を学ぶなど、活動の幅が広がりました。
- ②新会員オリエンテーションは、新会員の方11名を迎えて2月に開催され交流を深めました。360社の会員数は359社と前年度より1社減となりました。三支部が統合され、釧路地区会会員の方も根室、別海、中標津との会合に参加することが多くなり、くしろ支部の大きな目標となっている企業間連携を進める一歩になりました。

《2. 根室地区会》=====

■スローガン：根室の未来をつくろう！ 新たな地区会で チャレンジ！

◇まとめ

①多様なテーマで例会を開催し、学びを深めました。

新会員を含む会員報告、経営指針の必要性、新事業への挑戦や、ベトナムへの事業展開をテーマに例会を開催しました。別海地区会との相互交流も継続開催しました。また、山高会は「根室の魅力の再発見」をテーマに例会を企画し、企業見学や歴史の座学など、幅広い知識を身に付けました。

②「根室市中小企業振興基本条例」運用への参画

2015年4月1日より施行された根室市中小企業振興基本条例審議会に会員が委員として参画し、小規模企業の支援策等の具体化について議論を進めています。

③地域の歴史を学ぶオープン講演会を開催しました。

根室市民とともに根室の地域資源を再発見する目的で、写真家の岡田敦氏を招き、貴重な高山植物、天然記念物の鳥、野営場が共生するユルリ島の魅力を共有しました。オープン講演会として、根室の観光振興の促進につながる機会を設けました。

④高校との就職懇談会を開催

根室高校と根室西高校の教員との懇談会を開催し、高校生の就職状況の報告と企業側の採用と定着課題について意見交換しました。

⑤会員数は期首減

会員数の増加を計画していましたが、未会員の例会へのオブザーバー参加等の働きかけが十分にできず退会数が上回り会員減となりました。メディアを活用して地域への活動発信と、毎回の例会を未会員の参加と入会を呼び掛ける機会にすることが課題となりました。

日程	内容	参加
4/21	根室支部第33回決算総会・根室地区会設立総会 テーマ：同友会で学んだ会社の未来づくり 基調報告者：総合設備(株) 代表取締役 亀岡 孝 氏	23
4/26	くしろ支部設立総会（3支部統合総会）	6
5/31	根室地区会5月例会 テーマ：経営指針再考～いつもと違うアプローチで～ 報告者：医療法人社団一期会 ウェル歯科診療室 理事長 木村 也寸志 氏（別海地区会 経営指針成文化研究会）	14
6/30	根室地区会6月例会 テーマ：会員卓話～これまでのあゆみと展望 報告者：根室ひまわり基金法律事務所 弁護士 木名瀬 広暁 氏（弁護士業） 報告者：(有)ヤエサン 代表取締役 大家 恵子 氏（北海道新聞販売業）	12
7/22	地元高校との就職情報懇談会（7月例会）	15

	テーマ：地元の人材定着をどう図るか	
8/28	山高祭 ～山高会・根室地区会と別海地区会との交流会～ 山高会主催 工場見学とボウリング&焼肉交流会 企業見学：杉山水産カニ工場 ボウリング大会：根室パシフィックボウル 焼肉交流会：ラウンジ麦	21
9/17 ～18	根室地区会 9月特別例会(さんま祭り)	
10/24	根室地区会 10月(受賞お祝い)例会 テーマ：新技術で漁業を支える!～ものづくり大賞受賞秘話～ 報告者：(株)トーエー産業 代表取締役 田中 昭由 氏	15
11/21	11月例会 テーマ：「ユルリ島」幻の島～馬が死んだらどうなる～ 報告者：早川 昭貴彦 氏 (ユルリ島案内人)	14
12/8	根室地区会望年例会	23
1/26	根室地区会新春講演会&新年交礼会 テーマ：昨日より今日、今日より明日の成長を目指して ～メロディーロードで活路を拓く～ 報告者：(株)篠田興業 代表取締役 篠田 静男 氏	24
2/1	根室地区会 2月例会 テーマ：ベトナムへの事業展開で活路を見出す独立自尊経営の実践 ～高付加価値サービスは人材育成から～ 報告者：(株)すずき 代表取締役社長 鈴木 新一 氏	13
3/11	根室地区会&山高会 3月合同例会 テーマ：写真家・岡田敦がとらえた根室の魅力 ～命の尊厳を見つめて～ 講師：写真家 岡田 敦 氏	100
3/12	写真家・岡田敦氏との交流会	

《3. 別海地区会》=====

■スローガン：地域と共に創る、別海の未来！

◇まとめ

別海地区会は、2007年11月に地域の期待を担って40社で発会しました。活発な地区会活動と共に会勢は伸び、地域になくてはならない経営者団体として評価が高まっています。

2016年度の活動の特徴として次の点が挙げられます。

- ①2012年2月に始まった宮城同友会と別海地区会の地域間交流を継続開催しました。2016年度は、5月11日に尾岱沼で交流会を開催し、中小企業が震災復興に果たした役割を共有しました。また、9月16日～17日に開催された別海町産業祭に白石蔵王支部のメンバーと宮城名物の温麺等を提供し、宮城をPRしました。交流会も開き、遠隔地間の交流事業が一層推進されました。

- ②別海町医療サポート隊「医良同友」の講演会も継続開催し、超高齢社会における地域での今後の終末期医療の在り方の変化を学び、地域ぐるみで医療を支えるビジョンづくりについて考える機会となりました。
- ③担当委員が同友会の3つの目的に沿った例会・活動を企画し活動を展開しました。地区会例会では、全道各地から講師を招へいし、人材育成や企業戦略、新事業展開、ベトナムへの輸出など、多面的な話題をテーマに多くの会員が学びを深めました。
- ④2013年度より「経営指針成文化研究会」を継続開講し、自社の経営指針づくりに励みました。「経営指針成文化研究会」を8名で継続開講し、自社の経営指針づくりに取り組みました。また、例会として2名による報告例会を開催しました。
- ⑤2009年に施行された「別海町中小企業振興基本条例」の推進に向けた活動を展開しました。別海町では、中小企業振興基本条例を根拠に効果的な施策展開を図るため、釧路公立大学地域経済研究センターに産業連関表の作成を委託。別海地区会長が調査員として委嘱を受け、調査に協力しています。また、会員が委員として中小企業振興検討会議に参加し、施策反映に尽力しています。
- ⑥会員数はやや後退
 旺盛な活動を展開しましたが、未会員への呼びかけが十分でなく、会員増強に結び付けられませんでした。情報発信と未会員への積極的な声かけが10周年90社会勢に向けての課題となりました。

日程	内容	参加
4/11	別海地区会 第9回経営指針成文化研究会	2
4/23	別海地区会第10回定時総会 テーマ；新鮮長持ち氷の新技术！ ～窒素氷®で食の付加価値づくりをお手伝い～ 報告者；(株)昭和冷凍プラント 代表取締役 若山 敏次 氏（釧路）	31
5/11	宮城県同友会・石巻支部との交流会 釧路市内企業見学 明郷 伊藤牧場にてバター作り体験 尾岱沼見学 別海地区会との交流会（尾岱沼）	22
5/16	別海地区 第10回会経営指針成文化研究会	4
5/18	別海地区会5月例会 テーマ：金融機関との付き合い方 報告者：大地みらい信用金庫別海支店 支店長 石森 裕章 氏	
6/13	別海地区会 第11回経営指針成文化研究会	4
6/22	「医良同友」役員会	11

6/28	別海地区会 6 月例会 テーマ：日本初！エゾシカの一時的養鹿事業への挑戦 ～養鹿事業へ展開したワケとは！？～ 報告者：北泉開発（株） 常務取締役 曾我部 元親 氏（くしろ支部 幹事長）	11
7/11	『医良同友』活動報告会・懇親会 テーマ1：病院薬剤業務の紹介 報告者：町立別海病院 薬局長 川崎 晋 氏 テーマ2：“かかりつけ薬局”の役割と動向 報告者：（株）あゆみ調剤 代表取締役 山下 隆 氏（釧路）	35
7/19	別海高校生との懇談会 企業説明 懇談会	10
7/19	別海地区会 第 12 回経営指針成文化研究会	5
7/26	別海地区会 7 月例会 テーマ：『商機はネーミングにあり！』 ～ユニークなキャッチフレーズがチャンスを生む～ 報告者：利尻屋みのや 代表取締役社長 簗谷 修 氏 (しりべし・小樽支部会員)	11
8/19	別海町商工観光課との懇談会 焼肉交流会 会 場：郊楽苑 焼肉場	14
8/22	別海地区会 第 13 回経営指針成文化研究会	3
8/24	別海地区会 8 月例会 テーマ：別海型教育モデル 生き抜くカプロジェクト 報告者：別海町教育委員会 教育指導参事 古森 康晴 氏	
9/16 ～17	別海地区会と宮城県同友会白石蔵王支部との交流会 1 日目会場：鮎和 2 日目会場：食道園	17
9/17 ～18	別海町産業祭 (別海地区会と宮城県同友会白石蔵王支部で協力出展) 会場：別海町農村広場	5
9/26	別海地区会 9 月例会 テーマ：“メロディーロード”で活路を拓く ～中小建設業の新たな仕事づくり～ 報告者：(株)篠田興業 代表取締役 篠田 静男 氏	13
10/25	別海地区会 10 月例会 テーマ：組織の在り方を変える「場活」とは？ 報告者：現場活性化研修講師(場活師) 田中 秀樹 氏	14
10/28	別海地区会 第 14 回経営指針成文化研究会	4
11/16	別海地区会 第 15 回経営指針成文化研究会	6
11/22	別海町医療サポート隊 医良同友 医療講演会 テーマ：高齢化社会での介護と終末期医療 報告者：社会福祉法人 幸清会 理事長 大久保 幸積 氏(洞爺湖町)	36

11/25	別海地区会 11 月例会 テーマ：グローバルな販路と高い品質を別海から 報告者：(株)丸イ佐藤海産 代表取締役 伊勢 徹 氏	12
12/9	別海地区会望年例会	19
1/12	別海地区会 第 16 回経営指針成文化研究会	4
1/16	別海地区会新春講演会&新年交礼会 テーマ：人口減少と地方創生の方向 報告者：釧路公立大学 地域経済研究センター センター長 佐野 修久 氏	44
2/8	別海地区会 第 17 回経営指針成文化研究会	4
2/17	同友会くしろ幹部大学視察 1 名 テーマ：個人のキャリア形成～意味形成と認知バイアス～ 講 師：釧路公立大学 教授 加藤 一郎 氏	1
2/22	別海地区会 2 月例会～経営指針報告例会～ テーマ：経営指針は経営者の“夢” ～悩み、考え、行動し、語りあうことで見えてきた自分と会社～ 講 師：(有)村上デンキ 代表取締役 村上 徹 氏 講 師：臼井牧場 代表 臼井 貴之 氏	20
3/3	同友会くしろ幹部大学視察 テーマ：「地域経済と地方財政」 講 師：釧路公立大学 准教授 下山 朗 氏	1
3/24	別海地区会 2 月例会 テーマ：別海の乳製品を世界へ ～ベトナムへの乳製品の輸出状況と今後の展開と課題～ 報告者：(株)べつかい乳業興社 代表取締役専務 近岡 一詩 氏	15

《4. 南しれとこ地区会》=====

■スローガン：この地域でともに歩み、新たな 1 頁 を創ろう！

◇まとめ

①同友会の「3つの目的」に沿った学びあいを活発に展開しました。

担当委員会が同友会の「3つの目的」に沿った活動を企画し、経営指針、人材育成、事業承継、販売戦略、町のふるさと納税の今後の展開など、多面的な話題をテーマに多くの会員が学びを深めました。

また、青年部猿の会では会員それぞれが例会を担当し、高い出席率で学びあいました。

②「中小企業振興基本条例」の具体化に向けた活動を展開しました。

南しれとこ地区会では、「中標津町中小企業振興審議会部会」の構成団体として、複数の会員が参画し、地元の中小企業を対象とした支援策、雇用拡大を目指した制度運用などの具体的方策について検討しました。また、役員と中標津町長、正副議長と中小企業振興に向けた懇談会を開催しました。

③経営指針の成文化に向けた勉強会を継続開催しました。

「第7期経営指針づくり勉強会」では5名が登録し、1年半にわたり、研究会で自社の悩みや成果を持ち寄り、経営指針の成文化に向けて学びあいました。

④くしろ支部新年交礼会 in 南しれとこを担当しました。

三支部がくしろ支部に統合後、初めての新年交礼会を中標津で開催。京都同友会からスリーシー社長の渡邊博子氏を招き、人間尊重経営の実践に感動が広がりました。また、初めて町議の皆さんを来賓として招き、多くの来賓に参加いただき会活動のPRとなりました。

⑤会員数は一步後退

会員数の増加を計画していましたが、オブザーバー参加を十分に入会に結び付けることができず、退会数が上回り会員減となりました。メディアでの活動発信と、地区会の継続的発展のために若手経営者、酪農業者を中心に入会を呼び掛けることが今後の課題となりました。

開催日	内容	参加
4月12日	経営指針づくり勉強会第8講	3
4月18日	南しれとこ支部決算総会&南しれとこ地区会設立総会 第1部 南しれとこ支部決算総会 第2部 南しれとこ地区会設立総会 第3部 記念講演 テーマ：釧路・根室エリアの地域と企業の可能性 講師：(株)北海道新聞社 代表取締役会長 村田 正敏 氏 第4部 懇親会	39
4月26日	くしろ支部設立総会（三支部統合総会）	16
5月31日	経営指針づくり勉強会第9講	2
6月11日	同友会南しれとこ地区会 親睦ゴルフコンペ ゴルフコンペ&会員親睦懇親会	8
6月24日	南しれとこ地区会 6月例会 テーマ：1. 中小企業振興基本条例と審議会の取り組み 2. 実践型地域雇用創造事業の活用と今後の展望報告者 報告者：中標津町経済部 経済振興課 商工労働係長 田中 道行 氏	15
6月30日	経営指針づくり勉強会第10講	4
7月28日	南しれとこ地区会 7月例会 テーマ：聞いて納得！知って得する！『ふるさと納税』 講師：(株)オーレンス総合経営	16
8月26日 ～27日	南しれとこ地区会8月羅臼移動例会	10
9月30日	南しれとこ地区会 9月例会 テーマ：クマゴロンのトコトコ物語～ひらめき・ときめき・このゆびとまれ～ 講師：シレットコファクトリー フロントランナー 大橋 勝憲 氏	13

10月21日	南しれとこ地区会 10月例会 テーマ：ふるさと納税開始までの経緯と今後の展望について 講師：中標津町 総務部企画課 課長 木村 実 氏 係長 石井 弘文 氏	15
10月28日	経営指針づくり勉強会第11講	3
11月8日	中標津町長・議長との懇談会	4
11月25日	南しれとこ地区会 11月例会 テーマ：相続・事業承継の見方、考え方 報告者：大地みらい信用金庫 プレミアムサポートセンター 副部長 横澤 英俊 氏	14
12月2日	南しれとこ地区会 望年例会	27
1月30日	くしろ支部 新春講演会&新年交礼会(南しれとこ地区会 新年交礼会) テーマ：「想いをつなぐ経営・社員と共に」 ～歩んできた道を振り返った時、そこには大きな夢と希望があった～ 講師：(株)スリーシー 代表取締役 渡邊 博子 氏 (京都同友会員)	121
2月20日	南しれとこ地区会 2月例会 テーマ：保険代理店の統廃合時代を生き抜く！ ～「経営指針」の実践が個人と組織を成長させる～ 報告者：リプラス(株) 代表取締役 櫻井 英裕 氏(釧路地区会)	21
3月10日 ～11日	南しれとこ地区会 3月幹事一泊研修 テーマ：南しれとこ地区会の“新たな1ページ”を創ろう！ ～交流を深め、次年度の活動を展望しよう～	10
3月13日	南しれとこ地区会 3月例会 テーマ：南極越冬隊に学ぶ『チームワークの大切さ』 報告者：元 野外観測支援隊員 高橋 学察 氏(現 中標津保健所職員)	29

《5. 標茶地区会》=====

■スローガン：地域と共に発展、がんばる宣言！標茶地区会

◇まとめ

- ①標茶地区会で初めての取り組みとなる「標茶高校との懇談会」を開催。校長・教頭を含む教員11名、同友会会員14名、商工会会員や金融機関等も参加し、高校と地元企業が果たす役割を確認しました。高校の担当者から、進路指導状況や高卒求人のポイントを報告いただき、企業が求める人材像等についてざっくばらんに意見交換しました。
- ②8月例会では、東部ダイハツ・箕社長、10月には地元の川上神社・長尾宮司を招く等、地域や会員を知る学びあいを展開しました。
- ③摩周地区会と合同で“労働環境改善セミナー”を開催し、時間外管理の考え方など経営者が避けては通れない企業課題について学びました。

《6. 厚岸地区会》=====

■スローガン：見つめ直そう、厚岸

◇まとめ

- ①2016年度の地区会スローガンを「見つめ直そう、厚岸」とし、様々な活動を行いました。7月には、厚岸町文化財専門委員でもある、ピリカウタこう房・宮川主幸をお招きし、厚岸町の商店街の歴史や成り立ちについて写真スライドをもとにお話いただきました。厚岸町の過去と現在にじっくり触れることができ、参加者からも大変好評でした。
- ②「地域経済について考える」をメインテーマとして例会を定期開催しました。釧路公立大学・下山准教授より、中小企業振興基本条例の考え方、厚岸経済の現状、域内循環のメカニズムと、厚岸地域において経済波及効果が及ぶ業種や金額等を具体的数値にて解説いただきました。
2月には、下山ゼミに所属する学生が、厚岸と阿寒の道の駅で実施した「道の駅利用者の同行調査・分析」について報告。町職員や、会員企業の従業員等も多数参加し、地域課題や観光客誘致について意見交換しました。
- ③町立厚岸病院との交流会を今年度も継続開催し、カキキンさんの養殖場見学、焼肉懇談会で交流を深めました。町立厚岸病院の皆さんとの交流をより発展させたいとの要望が会員から出され、今後更なる展開が期待されています。

《7. 摩周地区会》=====

■スローガン：てしかが元気創造～輝く未来に向かって、摩周地区会～

◇まとめ

- ①弟子屈高校との連携を2016年度も継続し、高校への講師派遣、面接指導などのキャリア教育支援を積極的に行いました。今後は、小中学校との連携を広げることが検討されており、更なる展開が期待されています。
- ②2014年度より継続的に取り組んでいる「美味しい例会」では、厚岸地区会のカキキン・中嶋社長に話題提供いただきました。厚岸の牡蠣とブリを味わいながら、生産者の思いと地域の“食の魅力”を大いに語り合いました。
- ③4月開催の定時総会では、弟子屈町地域おこし協力隊の小林さん、12月の望年例会では新会員の野村北海道菜園・十川社長、3月例会ではBakery&Café miriya・渡邊さんにお話いただき、地域の魅力や資源、会員を改めて知る学びに力を入れて活動しました。
- ④標茶地区会と合同で“労働環境改善セミナー”を開催し、商工会職員や、会員企業の従業員等も多数参加しました。時間外管理の考え方等、経営者にとってかかせない企業課題をテーマとした勉強会は、参加者からも大変好評でした。2017年度も同様のセミナーを開催したいとの要望が会員から出され、継続開催が検討されています。

《8. ルパン浜中地区会》=====

■スローガン：Go For the Next! 一致団結 チームルパン浜中

◇まとめ

- ①条例制定に向けての学習会の他、会員同士で地域の現状と展望について語り合う機会を初めて設けました。地域の企業として1次産業とともに発展していく方向性や、人口減などの地域課題の解決の糸口を議論しました。
また、くしろ支部新年交礼会を地区例会と位置づけ参加した他、第4回釧根経営セミナーを担当し、くしろ支部各地より60名が参加。講演では「地域の強み、企業の強みをさらに強く、弱みを強みに変える」、「モノからコト売りへ」など今後の企業経営のヒントをいくつも得ることができました。
- ②ルパン浜中地区会の2016年度の例会出席率は53%と高い割合でした。新年度も引き続き、例会への出席率を高めることで会員同士のつながりづくりと、新たな会員対象者の掘り起しを目指します。
- ③(仮)浜中町産業振興基本条例の制定に向けて、根室市での条例制定の経緯と制定後の取り組み事例を現地役員から学びました。また、釧路公立大学の下山朗准教授を招き、地域の特色を活かした自立的・持続的な地域をどのように作るかについて、外貨獲得と域内循環の促進という切り口で講演いただきました。浜中町の経済状況についても数値で客観的に学び、条例制定への機運を高めました。
- ④ルパン浜中地区会は期首から2社減で27社となり、目標の30社には届きませんでした。会員以外の方も参加できる例会などを設け、地区会の活動周知とともに、元気な企業を1社でも増やすために活動に巻き込む取り組みが課題となりました。

==くしろ支部 2016 年度活動のまとめ（5 委員会報告）==

《1. 経営指針委員会》=====

- ①釧路地区会では「第3期くすり塾」を開講し、一泊研修を含めた全10講に5社6名が参加。南しれとこ地区会では「経営指針づくり勉強会」（全11講・5名参加）、別海地区会では「経営指針成文化研究会」（全17講・8名参加）を2015年度より継続開催し、経営理念、方針、戦略等を練り上げました。各研究会では、受講生が学びの成果を報告する「経営指針発表会」を開催し、経営者としての姿勢、戦略の見通し等を論議しました。
- ②くしろ支部経営指針委員会や全道経営指針委員会道東ブロック会議を開催し、2016年12月に発刊された「経営指針成文化と実践の手引き」の学習会、各地域の取り組みについて情報交換を行い、経営指針づくりの普及に向けて取り組みました。

《2. 組織委員会》=====

- ①組織委員会では、2014年度に発足した一步の会（学びあい小集団グループ）を4グループで行い、新会員や同友会歴の長い「ベテラン会員」の報告を中心に毎月例会を開催しました。企業経営における悩み、将来展望等が率直に語られ、同友会らしい「互いを知りあう学び」が展開されました。
- ②9月には「第3回 移動全道組織・企画委員会 in くしろ」を開催し、他支部の会員増強に向けた取り組み、非会員参加型交流会「Doyu 交流会」開催状況等について意見交換を行いました。11月に道北あさひかわ支部で開催された Doyu 交流会には、くしろ支部・成澤組織委員長、釧路地区会・乗山組織委員長が参加し、2017年度のくしろ支部での Doyu 交流会開催に向けて準備を進めました。
- ③2017年3月に開催した新会員オリエンテーションには、新会員11名と紹介者、幹事、組織委員が参加しました。くしろ支部 副支部長の長江氏（長江建材（株）・会長）より、自身の体験も含めながら同友会の魅力について報告がありました。交流会では新会員、紹介者のスピーチが行われ、同友会運動への理解と会員間交流を深めました。

《3. 共育委員会》=====

- ①入社した社員の定着が社会問題になる中、新入社員研修会（釧路会場 22社33名、別海会場 4社5名）、3年未満研修会（社16名）、コミュニケーション研修会（釧路会場 6社11名、3社6名）、接待マナー研修会（10社12名）などを開催し求人委員会と連携して採用から教育・定着までの一貫した人材づくりを行いました。
- ②第24期幹部大学（8講 11社17名）が開校され、全員が無事に修了しました。幹部大学同窓生が各講座の司会や第8講目を担当するなど近年活動が活発になっています。幹部大学別海会場の検討や視察などが始まり、根室管内の幹部教育も開催に向けて動き出しました。
- ③さらに委員会と連動する形で明輝高校（釧路）教員との交流会を2回、釧路公立大学の加藤ゼミとの共同研究（幹部社員の意識調査）など高校や大学との交流も始まりました。

《4. 政策委員会》=====

2回の委員会を開催し、各自治体の振興条例により設置された審議会等への参画状況や、議論内容、課題について各地区会委員で意見交換を行いました。

今後、各自治体職員を交えた懇談会を開き、振興条例の息づく地域づくりについて議論するとともに、根釧全自治体での条例制定を後押しすることが確認されました。

《5. 求人委員会》=====

①求人委員会は、釧路市と連携しながら8月に合同企業説明会を開催し35社の企業が参加し、60名（高校、大学）の学生が集まりました。大学のゼミの教授との人脈マップ作りは15大学、20名との連携が図ることができ、12月9日の釧路企業の見学バスツアーの実施、合同企業説明会への学生の参加に成果を上げています。中途求職者の採用では釧路市地域雇用創造協議会との連携もあり会員企業に5名を採用することができました。

②同時に開催された女性求職者の合同企業説明会やスキルアップ事業では20名の採用が決まっています。大学生に釧路の魅力を伝えようと各大学のカリキュラムに講師を派遣していますが、今年は3大学5名の会員経営者が90分の持ち時間を生かして、釧路の産業や自社の経営戦略、釧路の元気な経営者などを紹介しました。アンケートでも釧路の就職に25%の方が興味を持ちました。高校生の求人も年々厳しくなっていますが、2回の高校の担当教員との懇談会、教員対象の企業見学会など高校にも中小企業の魅力を伝えています。

===くしろ支部 2016 年度活動のまとめ（4 部会報告）===

《1. くしろ支部青年部》=====

くしろ支部青年部はくしろ支部統合によって、みけた会（釧路支部）、獺の会（南しれとこ支部）、山高会（根室支部）がそれぞれの組織形態を保ちつつ、同友会理念のもとに広域活動の活発化、根室、釧路経済圏を支える青年経営者・幹部の力量を高めるべく2016年4月16日に発足しました。支部の垣根を越えて、みけた会20周年記念事業、北見での全道青年部・後継者部会交流会への参加、山高会設営の合同例会など交流と研鑽を重ねてきました。各会とも部会員は少しずつ増加しています。広域活動の成果が見え始めています。今後とも移動距離のハンデを克服しつつ、お互いを高めあってまいります。

■みけた会（釧路）

みけた会は20周年記念を迎え釧路地区会内での認知度の向上、会員増強、青年経営者として力量アップを目指して活動を展開しました。20周年記念講演会、2回の釧路地区会との合同例会、6回の新会員を中心とした報告、体験例会を開催しました。網おこし例会、家族同伴例会などユニークな例会は話題を呼びました。10社の新会員を迎えることができ41社となりました。また例会の参加率も向上しました。

日時	名称	テーマ	報告者	参加
4月16日	第21回定時総会	十勝ならではの経営～私の決意～ 「あすなる会」の魅力づくりと後継者の役割	(有)マミィ 代表取締役 南出 雅樹 氏(とがち支部) (株)近藤商会 常務取締役 近藤 真治 氏(とがち支部)	19
6月10日 ～11日	6月例会	テーマ：網おこし体験(定置網)を通して 漁業の今を知ろう！	(有)和田漁業部 専務取締役 和田 泰之 氏	8
7月19日	7月例会	テーマ：わが社の経営戦略	創配重機(株) 常務取締役 田中 慎之介 氏	13

		～経営幹部としての役割～		
8月4日	公開例会&釧路地区会8月例会	テーマ：最悪の事業継承からの出発～社員とともに新しい会社作りを目指して～	㈱宇佐美商会 代表取締役 宇佐美 隆 氏 (札幌支部長)	34
9月27日	設立20周年記念講演会&記念パーティー	テーマ：足もとに笑顔を届ける会社～奇跡を起こしたピンクの靴から学ぶ、喜びを分かち合う経営～	徳武産業㈱ 代表取締役会長 十河 孝男 氏 (香川同友会会員)	155
10月23日	10月例会	テーマ：釧路のそば文化にふれ、交流を深めよう～奥様、お子さんをお誘いください～	マルニ藪そば 二代目 安田 及司史 氏	21
12月8日	12月例会(青全交報告会)&望年会	テーマ：全国の青年経営者から学んで～営農100年の歴史を支える決意を胸に～	㈱伊藤デイリー 専務取締役 伊藤 和宏 氏	17
1月19日	1月例会	テーマ：創業から1年～私の2017年にかける決意～	ケイズプランニング 代表 佐々木 圭一 氏	14
2月25日～26日	2月一泊例会	テーマ：設立10年に向けて～わが社の歩みと今後の営業戦略～	㈱カーロード 代表取締役 成瀬 司 氏	7
3月14日	公開例会&釧路地区会3月例会	テーマ：「すすきの」一番のジンギスカン店を目指して～社員と共に業界の常識を壊す～	㈱ブレンドワークス 代表取締役 前川 裕一氏 (札幌支部幹事長)	47

■ 獺 (ばく) の会 (南しれとこ)

2016年度の獺の会は、メンバーがそれぞれ報告者となることで、得意分野を活かした知識と経験を共有することができました。また、地域の魅力を再発見する目的で外の視点から見た中標津観光の魅力を知る機会や、中標津で盛んなそば打ち体験も企画しました。幹部社員の学びの輪を広げるために声を掛け合い会員数も5名から8名に増え、出席率も高まっています。

日時	名称	内容	参加
4月15日		第23回獺の会定時総会	
5月16日	5月例会	みんなで考えよう！今年度の活動について	5
6月15日	6月例会	リーダーシップの発揮～ケーススタディ『八甲田山死の彷徨』～	7
7月13日	7月例会	『ふるさと納税』 報告者：(株)オーレンス総合経営 公認会計士 枝 大樹 氏	10
8月23日	8月例会	手打ちそば体験を通して中標津の魅力を感じ取ろう！ 講師：中標津手打ちそば「ささ藪学校」の皆さん	7
9月27日	獺の会9月移動例会	足もとに笑顔を届ける会社 ～奇跡を起こしたピンクの靴から学ぶ、喜びを分かち合う経営～ 講師：徳武産業(株) 代表取締役会長 十河 孝男 氏 (香川県中小企業家同友会会員)	2

10月26日		くしろ支部青年部 貌の会 10月例会 中標津町の観光の魅力 報告者：(一社)なかしべつ観光協会 親松 麻子 氏、小池 瞳 氏	8
12月16日	望年会		6
2月22日	2月例会	地震と災害について 報告者：第一宅建設(株) 青山 新吾 氏	6
3月15日	3月例会	テーマ：「これからのテレビ」と、VR(バーチャルリアリティ) 報告者：小柳電機(株) 小柳 佑樹 氏	9

■山高会（根室）

2016年度の山高会は「根室の魅力を再発見しよう」をテーマに例会を企画しました。根室で唯一残る缶詰工場のマルユウや、杉山水産のカニ工場見学では、地域の優位性を活かした産業を発展させ、早くから海外貿易をしてきた根室の歴史にヒントと勇気を得る機会となりました。また、ユルリ島の馬の歴史について学ぶ機会と、実際に上陸を許されている写真家の岡田氏の講演を通して、根室の貴重な地域資源の再発見と、観光のあり方について考える機会となりました。

日時	名称	内容	参加者
4月14日	総会	山高会 第25回総会	6
5月20日	例会	山高会 5月例会 テーマ：賃金体系・賃金形態の落とし穴 講師：根室法律事務所 弁護士 保坂 いづみ氏	10
6月30日	例会	山高会 6月例会 会場：(株) マルユウ 内容：1) 工場見学 2) 缶詰の歴史講義	10
7月19日	オープン例会	山高会 7月オープン例会 テーマ：「こんぴらさんのお祭りの歴史」 報告者：前田 康 氏（根室金刀比羅神社 宮司）	10
8月28日	交流会	山高祭～山高会・根室地区会と別海地区会との交流会～ 山高会主催 工場見学とボウリング&焼肉交流会 ・企業見学：杉山水産カニ工場 ・ボウリング大会：根室パシフィックボウル・交流会	21
10月19日	例会	山高会 10月オープン例会 テーマ：「ユルリ島」 幻の島～馬が死んだらどうなる～ 報告者：早川 昭貴彦 氏（ユルリ島案内人）	6
11月11日	交流会	全道青年部・後継者部会交流会 in オホーツク 【大会スローガン：元気があれば、何でもできる】 テーマ：思うは招く ～夢があればなんでもできる～ 講師：(株) 植松電機 専務取締役 植松 努 氏 (道北あさひかわ支部会員・赤平市)	
1月19日	新年会	くしろ支部青年部 山高会 新年会	8
3月11日	例会	根室地区会 3月例会&山高会 3月例会 テーマ：写真家・岡田敦がとらえた根室の魅力 ～命の尊厳を見つめて～ 講師：写真家 岡田 敦 氏	100

《2. あゆみの会》=====

- ①あゆみの会のメンバーが協力しあい、年間計画を作成し、浜中町への一泊研修会や新会員歓迎会等を含め、7回の例会を開催しました。例会には、あゆみの会メンバーだけではなく、オブザーバーも多数参加。また、今年度は新たに3名の新会員が入会するなど、活発な活動を展開しました。
- ②釧路短期大学・佐藤氏や、釧路公立大学・下山氏を講師に招き、釧路の歴史や経済についてお話いただきました。そして、石橋支部長や曾我部幹事長から地域資源の活用や食について学ぶ例会を開催し、多岐に渡るテーマで積極的に学びを深めました。

《3. マルチメディア研究会》=====

年間に2回の例会開催に留まり、会員の方のニーズやマルチメディア研究会の在り方を考える1年となりました。

①マルチメディア研究会8月例会

報告者(株)MACHA 代表取締役 川村 修司 氏

テーマ：プロジェクションマッピングの可能性

②一泊研修会

報告者：ファーストコンサルティング(株) 代表取締役 乗山 徹 氏

テーマ：最近気になるソーシャルメディア

《4. 釧根農業経営部会》=====

①第4回釧根農業部会総会では、しりべし・小樽支部会員の(株)OcciGabi Wineryの落専務が、「夢のつまったワイン造り～余市川ワインバレー構想と地域おこし～」をテーマに講演。余市町でワインの自家醸造やレストラン経営などを手掛ける落専務の、ワインを核とした、まちづくりと地域創生にかける思いから学びました。

②2016年度は、会員の要望を反映した勉強会(セミナー)を定期開催すべく、部会員へのアンケートを実施。要望の多かった、電力の自由化、ITの利活用、後継者問題などをテーマに例会を開催しました。

③釧根農業経営部会が設営を担当し、2月3日に「全道農業関連部会交流会 in くしろ」を開催しました。「未来の酪農文化を語ろう！」をテーマに全道各地から146名が参加し、農業の未来について語り合いました。

記念講演では、浜中町農業協同組合の石橋榮紀組合長(くしろ支部長)が、「更なる100年に向けて～“食”は文化の原点～」と題し、根釧地域の酪農の歴史を振り返りました。石橋氏は講演で、「競争から、共生を目指す時代になった。命の貯蔵庫である酪農が果たす役割とは何かを考えていきたい。次の100年を見据えた、地域や環境に配慮した農業に皆で挑戦して行きましょう。」と提起しました。

講演後、「土・草」、「牛・環境」、「チーズ・乳文化」、「6次化・体験型酪農」、「若手農業者＋未来の酪農」の5分科会に分かれ、報告と討論が行われました。分科会后、全参加者が一堂に会し、各分科会の熱心な討論内容が全体会で報告されました。異業種が学びあうことで見えた事業課題、農業の可能性を共有しました。

締めくくりの懇親会では、釧根農業経営部会員の食材を中心としたこだわりの料理や、七つの工房のチーズ盛り合わせ、牛乳飲み比べ等を味わい、厳冬のくしろで熱い交流の輪が広がりました。

==くしろ支部 2016 年度活動のまとめ (3 同好会報告) =====

《1. ノイズ倶楽部》=====

2016年9月23日に開催されたノイズ倶楽部ビアパーティーでは4バンドが腕を競い、297名の観客を魅了しました。

《2. ゴルフ同好会》=====

今年度は計画の通り4回の例会を行いました。参加率も高く、活気のある会運営を行うことができました。

開催日	2016 年度活動
5月28日(土)	【5月例会】釧路カントリー・東コース【17名】
7月2日(土)	【7月例会】阿寒カントリー【15名】
8月27日(土)	【8月例会】釧路カントリー・西コース【14名】
10月15日(土)	【10月例会】釧路カントリー・東コース + 納会【20名】

《3. ツーリングクラブ》=====

2016年度は一泊例会を含めて4回の例会を開催しました。各例会とも会員だけではなく、多くのオブザーバーに参加いただき盛況のうちに2016年度の活動を終了いたしました。納会の場などでは来年度に向けて更なる活動の拡大や他支部との交流について積極的に意見交換がされ、会員間、及びオブザーバーの皆様との親睦を深めることが出来ました。

開催日	活動内容
2016年6月19日	6月例会(ツーリング/網走・美幌方面)
2016年7月24日	7月例会(ツーリング/羅臼・ウトロ方面)
2016年9月3~4日	層雲峡一泊例会
2016年9月25日	9月例会(ツーリング/帯広方面)
2016年11月26日	納会

議案第2号 2016年度決算報告

○ 2016年度決算報告

※別紙決算書をご参照ください

議案第3号 2017年度支部幹事、会計監査(支部役員)選出

※支部総会で役員承認後の第1回くしろ支部幹事会で選出

北海道同友会くしろ支部2017年度役員

	支部内役職	氏名	会社名	役職
1	支部長 (釧路地区会)	長江 勉	長江建材 (株)	取締役会長
2	副支部長 (釧路地区会)	木内 敏子	(株) ダスキン釧路	代表取締役会長
3	副支部長 (南しれとこ地区会)	雨宮 慶一	雨宮印刷(株)	代表取締役
4	副支部長 (根室地区会)	坂巻 秀敏	坂巻歯科医院	院長
5	副支部長 (別海地区会)	山口 寿	富田屋 (株)	代表取締役
6	幹事長 (釧路地区会)	曾我部 元親	北泉開発 (株)	常務取締役
7	副幹事長(組織) (厚岸地区会)	成澤 則充	(株) ナリテツ	代表取締役社長
8	副幹事長 (ルパン浜中地区会)	出口 将平	(株) 丸物出口興産	代表取締役
9	副幹事長 (摩周地区会)	竹森 英彦	(株) 摩周調剤薬局	代表取締役
10	副幹事長 (標茶地区会)	小林 浩	(有) 小林自動車整備工場	代表取締役
11	幹事 (釧路地区会)	藤井 芳和	(株) トップオブ釧路	代表取締役
12	幹事 (南しれとこ地区会)	青山 隆志	(有) 青山商会	代表取締役
13	幹事 (根室地区会)	千葉 武	日本郵便 (株) 根室有磯郵便局	局長
14	幹事 (別海地区会)	高橋 宗靖	(株) 高橋工業	代表取締役
15	幹事 (標茶地区会)	佐藤 紀寿	(株) サトケン	代表取締役
16	幹事 (厚岸地区会)	中島 健洋	(有) 平良木新聞店	常務取締役
17	幹事 (ルパン浜中地区会)	澤辺 慎也	サワベスタジオ	映像事業部室長
18	幹事 (摩周地区会)	近藤 明	(株) 近藤建設	代表取締役
19	幹事(経営指針) (南しれとこ地区会)	日下 雪夫	(株) 津村測量設計	代表取締役
20	幹事(共育) (釧路地区会)	杉本 眞美	西興建設 (株)	代表取締役社長
21	幹事(政策) (釧路地区会)	森川 浩一	(株) オイコス	代表取締役
22	幹事(求人) (釧路地区会)	表 共良	(有) カーショップ オモテ	代表取締役
23	幹事(経営・厚生労働) (釧路地区会)	大久保 芳直	(有) 道東暖熱工業所	代表取締役
24	相談役幹事 (釧路地区会)	福井 克美	(株) トーテック	代表取締役
25	相談役幹事 (釧路地区会)	亀岡 孝	総合設備 (株)	代表取締役
26	相談役幹事 (根室地区会)	高岡 一朗	根室スチレン (株)	代表取締役
27	相談役幹事 (ルパン浜中地区会)	石橋 榮紀	浜中町農業協同組合	代表理事組合長
1	会計監査 (釧路地区会)	北山 幸徳	北山幸徳税理士事務所	税理士
2	会計監査 (釧路地区会)	中井 厚志	日章運輸機工 (株)	代表取締役

議案第4号 2017年度活動方針

《スローガン》

「広域な根釧の企業家が力を結集し、更なる飛躍へ」

根釧三支部は広域での学びや交流を通して各企業の体質強化をはかり、根釧経済の発展を図るために統合して2年目を迎えます。各地区会が活動の主役として役割を果たし、支部は各地区会の実践を根釧全域に広げていく仕組みを作ってまいりました。新年度も各地区会の実践や成果をくしろ支部幹事会がコーディネートして根釧の会員企業に広げていく1年としてまいります。会員700社の知恵を結集して、意欲的に下記の方針にのっとり行動を起こしてまいりましょう。

＜企業づくり＞

1. 企業づくりを会員の意欲的な実践報告、人材確保と育成で進める

- ①会員の知恵や経験は“辞書の1ページ”と言われます。新会員や意欲的に経営を行っている会員の方に報告をお願いしながら「新しい辞書の1ページをめくる」活動を展開します。
- ②経営指針成文化は社員と共に発展する企業を目指す要の活動です。企業存続を経営者の大きな使命としてとらえ、釧路地区会(くすり塾)、南しれとこ地区会(経営指針づくり勉強会)、別海地区会(経営指針成文化研究会)等の活動を展開してまいります。
- ③人材確保と育成は企業成長の基本となります。共育委員会、求人委員会が年間スケジュールを組んで釧路会場・別海会場と2拠点で社員教育、共同求人活動を強化してまいります。
- ④企業数が年々減少する中、事業承継問題は地域経済問題ともなっています。くしろ支部青年部とも連携しながら後継者育成にも取り組んでいきます。

＜地域づくり、経営環境づくり＞

2. 地域資源の再発見、新しい視点での企業連携で活性化を目指そう

根釧700社の会員はそれぞれの視点で地域資源を活用し製品化を進めています。単独では魅力を発揮できないものでも、組み合わせることで輝きを増すものも多くあります。そこで「根釧企業連携プロジェクト」を立ち上げて、個々の企業が持っている製品やノウハウを集積しながら企業連携による新しいコラボ商品の開発、ノウハウの構築、地域ブランド作りを支援していきます。

3. 中小企業振興基本条例は地域の“経営指針”、制定の支援と実践を深める

条例は地域づくりの指針となるものです。地方創生の旗印のもと全国の市町村では一斉に総合戦略を制定して人口対策、産業の振興に動き出しました。指針なき振興策は地域の将来に光をともし結果になりません。釧路市、弟子屈町、厚岸町、別海町、中標津町、根室市など制定した市町と連携し、制定への支援と実践の学びを深めてまいります。

<同友会づくり>

4. 経営、人、地域を支える同友会づくりを進める

- ①くしろ支部の各地区会の交流、連携強化を目的とした「釧根経営セミナー」を引き続き開催し、根釧地域の各地区会の連携を推進します。
- ②新会員の入会は会活動に新風を吹き込み、新鮮な活動に結び付きます。オリエンテーションを開催して同友会の魅力を伝えて共に学ぶ同友会の輪を広げてまいります。さらに各地区会の例会での紹介、報告者の依頼、歓迎会を定例化して「新会員を温かく迎える」を合言葉に新会員のフォローアップを行います。
- ③41年の歴史を重ねる同友会としての先輩経営者の同友会への熱い思いを学び、同友会の理念を深めてまいります。
- ④広域支部として情報の発信と共有は欠かせないものです。くしろ支部のホームページの再構築、フェイスブックでの発信、テレビ会議システムを活用しての支部委員会の活性化など ICT を活用した積極的な活動を進めてまいります。
- ⑤同友会の会員は辞書の1ページです。学びあう仲間が増えることで辞書の厚さが増します。今年度は女性経営者、農業経営者の入会を重点課題とし、くしろ支部 719 社を目指して会員増強に努めてまいります。

○ 2017 年度会員目標数

地区会名	現在の会員数（2017年3月末）	2017年度目標数
釧路地区会	359 社	370 社
厚岸地区会	30 社	35 社
摩周地区会	25 社	27 社
標茶地区会	27 社	27 社
ルパン浜中地区会	28 社	30 社
南しれとこ地区会	68 社	70 社
別海地区会	82 社	90 社
根室地区会	65 社	70 社
合計	684 社	719 社

◎支部方針に基づいた8地区会の2017年度活動計画-----

≪1. 釧路地区会≫=====

■スローガン：心ひとつに力を合わせ柔軟かつ強靱な組織づくりを!!

◇方針

<企業づくり>

1. 会社ぐるみで学びあい、経営体質の強化を図る活動を展開しよう

- ①経営者と社員が共に学びあい、変化する経営環境に対応できる研修会・講演会・例会などを開催してまいります。
- ②経営指針は企業経営の根幹です。経営指針委員会の運営で第4期くすり塾を開催し、経営指針成文化セミナーなどを通じて、企業の持続成長のための運動を展開してまいります。
- ③事業承継は、中小企業の存続だけではなく雇用の減少など地域問題にもなりつつあります。中長期の経営計画を明確に立て着実に準備を進めていくことが重要です。専門家の知恵も借りながら活動を強化してまいります。
- ④企業にとって人材確保と育成は企業存続の要となります。共育委員会、求人委員会が系統的に年間スケジュールを組んで社員教育、共同求人活動を強化してまいります。
- ⑤同友会のネットワークを生かし、根釧会員企業の連携で新商品の開発やノウハウの構築、販路拡大など企業力強化を目指します。

<地域づくり>

2. 釧路市中小企業基本条例に基づいた地域づくりを推進しよう

- ①2006年に中同協総会で宣言された中小企業憲章と中小企業振興基本条例制定運動の推進は全国にも広がりを見せており、釧路市の条例の実践は全国からも注目されています。釧路地区会では釧路市との円卓会議など連携して推進しています。
- ②中小企業憲章の精神を広げ、釧路市中小企業基本条例の「産消協働」の理念を柱に、1) 域内循環、2) 外貨獲得、3) 域内連携の3点を推進してまいります。
- ③金融機関との共栄は中小企業の発展を支えます。金融庁からベンチマークなどの指針も示されています。相互理解を深めてまいります。

<同友会づくり>

3. 会員が心を一つにして活動し、一人一人が主役として輝ける同友会活動

- ①お互いに知りあい、学びあい、助けあうのが同友会の原点。会員がお互いに率直に経営体験を報告し、その中から強い企業づくりのヒントを見出してまいります。2014年度に発足した小集団活動「一歩の会」を充実させてまいります。
- ②新会員オリエンテーションを開催して同友会の魅力を伝えてまいります。
- ③釧路地区会は根釧三支部統合の目的を実践するために、他地区会との報告者の派遣、交流等を積極的に行い他地区会との連携で根釧経済圏の活性化を図ってまいります。
- ④女性経営者の会員比率を高めて、その知的魅力で同友会活動に輝きと潤いを与えてまいります。
- ⑤学びあう仲間が増えることは、地域活力につながります。釧路地区会の会員数は360社です。会員数370社達成に向け、精力的に活動を展開してまいります。

《2. 根室地区会》=====

■スローガン： 一步前進、更に挑戦、根室の未来に繋げよう !!

◇方針

①企業づくり

- ・経営指針に基づいた経営を目指す勉強会を実施しよう。
- ・人材の確保と定着を改善するため、雇用情勢と社内環境づくりについて学ぼう。
- ・企業の強みを活かした業態変化や新事業参入、海外展開など経営戦略について学ぶ例会を実施しよう。

②地域づくり

- ・根室の歴史、魅力を再発見する勉強会を開催しよう。
- ・根室市や関係機関と連携し、根室市中小企業振興基本条例に基づいた地域づくりを議論し、審議会へ積極的に施策提案を行おう。
- ・高校との懇談会などを通して、地域の若者と共に育ち合おう。

③地区会づくり

- ・会員の要望を反映させた例会企画、事務局と役員による声かけで参加者増を目指そう。
- ・会員間連携を促進するために、各地区会との交流を図ろう。
- ・新会員を中心に地区会会員の報告例会を企画し、地区会内に「知りあい、学びあい、援けあい」の輪を広げ、結束力を高めよう。
- ・北方四島の日ロ共同経済活動に関する行政の会議に積極的に参画します。
- ・会員を貴重な「辞書の1頁」として70社会員を目指します。

《3. 別海地区会》=====

■スローガン： さらなる10年、地域と共に築く繁栄の礎

◇方針

【全体目標】

- ①地区会設立10周年記念事業を通して、会員の結集率を高めるとともに、地域との関わりを深め、90社地区会員を達成しよう。
- ②宮城同友会白石蔵王支部などの他地域、企業との交流や連携を具体化しよう。
- ③別海町中小企業振興基本条例を活用した、地域経済振興策を各団体と連携して推進しよう。
- ④経営指針成文化研究会の活動を充実させよう。
- ⑤別海町医療サポート隊「医良同友」の広報誌を作成するなど、地域住民との連携・交流を更に深め、住みよいまちづくりに貢献しよう。
- ⑥効果的な中小企業振興策を的確かつ迅速に行うため、「別海町産業連関分析」の調査結果の施策への反映について研究しよう。
- ⑦会員一人ひとりが辞書の1ページ。積極的に地区会の会員が報告する例会を開こう。

【幹事会目標】

- ①中小企業振興基本条例に基づき、振興策を協議する会議体への参画します。
- ②京都大学による地域経済分析結果（岡田レポート）を踏まえた地域振興策の協議、立案提言を行おう。
- ③産業間連携を推進する「産業連携室（仮称）」設置を、行政内部に置くことの提唱と要請活動を行おう。
- ④地域医療を守る「医良同友」の推進とパートナーシップの強化を図ります。
- ⑤同友会活動を広く理解する為に「同友会アカデミー」を開催し、同友会理念、経済学の考察を深めます。
- ⑥人口減少を少しでも抑制する為、未来の定住、人口増に繋がる活動を推進します。
- ⑦会員同士の融合、協力、団結を深める為、懇親の場もって連帯感の醸成を促進します。
- ⑧民主的な会運営を図るべく地区総会を開催します。
- ⑨地域経済の連続性を鑑み、将来のオピニオンリーダーとなりえる世代への学習意欲、向上心、愛郷心を育むため、各学術機関との連携を図り、子供たちへの体験留学を行います。

《4. 南しれとこ地区会》=====

■スローガン：会員（異業種）で集まり、学び、さらに懇親を深め地域のパワーの一助となる

◇方針

- ①原点を大切に、同友会の3つの目的に沿った学びあい活動を展開しよう。
自社の更なる飛躍と地域に根ざす企業として、自らの資質向上をめざし、地域課題に踏み込んだ例会や会社訪問例会、事業承継についての例会、会員報告会などを開催します。
- ②新会員や入会歴が長い会員が積極的に参加できる学びの場づくりを目指そう。
各委員会、プロジェクト、会議で、会員のニーズに応え、参加しやすい例会や交流の場づくりを進めます。また、青年経営者、企業幹部が集う「獏の会」の活動活性化を目指します。
- ③中小企業振興基本条例に基づいた地域づくりを推進しよう。
中標津町中小企業振興基本条例をもとに、行政や町議会、他団体と連携・交流し、講演会やビジネス相談会などを実施するとともに、審議会部会を通して必要な施策提言を行います。
- ④くしろ支部各地区会との交流と連携を促進しよう。
くしろ支部には8地区会が活動を展開しています。支部企画や、釧根経営セミナーへの参加など各地区会との交流を通して広域で会員間連携を図ります。
- ⑤南しれとこ地区会70社会員を目指そう
学びあう仲間が増えることは、地域の活力につながります。地区会会員数70社に向け、精力的に活動を展開しよう。

《5. 標茶地区会》=====

■スローガン：気持ちを一つに、標茶地区会～原点を見つめて～

◇方針

- ①町の将来を考え、地域や会員のための活動に取組もう。
- ②他地域から講師を招き、町民や他団体を対象としたオープン例会を年に1回実施し、地域間交流を深めよう。（東川町のまちづくりから学ぶ例会等）
- ③標茶高校との懇談会や企業経営者による講話を開催し、地域の将来を担う若年者の人材育成、職業観の形成、地元定着を目指し、教育機関との連携を進めよう。

《6. 厚岸地区会》=====

■スローガン：観光を学ぼう～観光から考える地域産業の課題、経営戦略～ ◇方針

現在、北海道でブームとなっている観光。北海道への観光客数が増え、空港を拠点とし、レンタカーや観光バスを利用した観光客が厚岸町にもたくさん訪れているが、町民にはあまり知られていません。厚岸地区会では、発展産業である観光をテーマに例会を開催し、下記を目的とした、実りある例会づくりを目指します。

- ①厚岸町民の知らない魅力・資源の再発見。
- ②発展産業（観光）から学ぶ経営戦略。
- ③各企業・産業での厚岸町の魅力、資源の活用法。
- ④観光を1年のメインテーマとし、じっくり学びを深めます。
- ⑤会員同士での参加呼びかけ、他団体（役場や観光協会）へのオブザーバー参加依頼を積極的に行います。

《7. 摩周地区会》=====

■スローガン：摩周の魅力再発見！～地域、人を見つめて2017～ ◇方針

- ①弟子屈町中小企業基本条例を大いに活用した地域経済振興策の検討と要望を発信します。
役場、商工会と連携し政策提言に向けての勉強会を開催し、協議会の再構築を検討します。
- ②会員の経験と知識の交流を目指した、会員報告例会を積極的に開催します。
- ③地元教育機関との連携を深め、「小中高一貫ふるさとキャリア教育推進事業」への協力などキャリア教育支援活動を実施します。（弟子屈高校への講師派遣、面接指導など）
- ④地熱などの「地域資源の活用」をテーマとした例会を開催します。
- ⑤2014年度より実施している「美味しい例会」を継続開催します。
- ⑥同友会の活動を会員外に広く知ってもらうための、地域向けセミナーを開催します。

《8. ルパン浜中地区会》=====

■スローガン：One for all, all for one ～チームルパン浜中～ ◇方針

- ①ルパン浜中地区会員と、根釧エリアの会員企業の経営体験から学び、経営体質の強化を図ります。
- ②経営者と社員が共に学び合える例会を開催します。
- ③オープン例会を開き、地域に広く会の活動を周知する機会をつくります。
- ④地域経済について学ぶ機会をつくり、各団体と連携し、(仮)産業振興基本条例の制定運動に取り組みます。
- ⑤会員数30社を目指し、また、企業間連携を促進するために、事務局と役員が協力し訪問や声掛けなどを通して、出席率を高めます。

◎支部方針に基づいた各委員会の2017年度活動計画

《1. 経営指針委員会》

- ① 釧路地区会(第4期くすり塾 5月スタート)、南しれとこ地区会(第8期経営指針づくり勉強会)、別海地区会(第9期経営指針成文化研究会)等の活動を「経営指針成文化と実践の手引き」を活用し、展開してまいります。
- ② 経営指針成文化で企業を伸ばしてきた会員の方を講師として招き経営指針成文化の成果を支部内に周知します。

《2. 組織委員会》

- ① くしろ支部会員数 719 社を達成します。
- ② 小集団活動(一步の会)で同友会らしい学びあいを促進します。
- ③ 新会員オリエンテーション(移動オリエンテーションも含む)の開催で新会員の同友会活動の理解を深めます。
- ④ 各支部で開催している Doyu 交流会(会員増強イベント)を実施し、会内外への同友会活動のPR、会員拡大に取り組みます。
- ⑤ とかち支部拓の会との定期交流で学びあい活動の輪を広げていきます。

《3. 共育委員会》

- ① 新入社員研修、3年未満研修を充実させて3年間で5割を超える離職率を45%以内にするように会員企業の社員定着を図ります。
 - ・ 新入社員研修会(3月)(釧路会場、別海会場)
 - ・ コミュニケーション研修会(7月)(釧路会場、別海会場)
 - ・ 入社3年未満講座の&同期会の設立(釧路会場)
 - ・ 先輩社員育成研修会(釧路会場)
- ② お客様の会社案内や接待等で社内教育のレベルが問われる時代と言われる中で、中堅幹部等の「接待マナー研修」を開催します。(釧路会場、別海会場)
- ③ 中堅幹部の総合的な力量を身につけることを目的に「第25期幹部大学」を開講します。
 - ・ 第25期幹部大学の実施 2018年1月～3月実施
- ④ 幹部大学 別海分校の検討
- ⑤ 教育にかかわる地区会例会を開催して、社内教育で企業体質の強化を図る事例を紹介します。釧路地区会例会の担当(8月9日)

《4. 政策委員会》

- ① 各地区会と連携し、根釧の条例未制定自治体に条例制定活動を展開します。
- ② 金融懇談会の開催等、金融機関との連携を促進します。
- ③ 条例制定自治体を訪問し、条例を活用した地域づくりについて経験交流を図ります。

《5. 求人委員会》=====

- ①中途求職者、大学、短大、専門学校、高校への中小企業の魅力の発信と人材の確保を図り、会員企業の採用意欲に応えます。
- ②インターンシップの受け入れなど高校生の就職意欲向上進路指導を高校と連携して行います。
- ③釧路公立大学、教育大学釧路校、釧路高専などと連携しながら、ゼミとの共同研究、学生起業コンテストなどを開催します。

経営課題	対策&実施内容	成果目標と実施時期等
高校、短大、大学等の採用が難しくなっている	○インターンシップの受け入れの実施 ・受け入れ名簿の作成	○各高校に受け入れ名簿を配布してインターンシップを促進する ○6月～12月
	○新卒者合同企業説明会 ・専門学校以上 ・高校生	○参加企業数（目標値） 大学 30社 学生 50名 高校 25社 生徒 80名 ○8月 市内ホテル
	○キャリア教育の実施について。 ・札幌の大学への講師派遣 ・釧路、根室管内への高校等への講師派遣	○各大学へ5名の講師派遣 ○各高校との連携 6月～2018年2月
	○中小企業魅力発見ツアー ・教員を対象としたもの ・高校との就職懇談会	○高校との就職懇談会 釧路、弟子屈、根室等 6月～11月 ○企業見学ツアー(高校を対象) 訪問企業 6社(1回3社) 8月 11月
	○札幌の大学生を対象としたバスツアーを開催し、釧路の企業見学、経営者との懇談会の開催	○札幌の大学生を対象 8月
社員の受け入れ態勢ができていない	○札幌の大学の教授との人脈マップづくり ・札幌の各大学を訪問して、釧路、根室管内へのUターン学生へのアプローチ、教授からのゼミ生、卒業生への呼びかけを依頼	○札幌及び近郊 10校 20名の人脈マップづくり 6月～11月
社員の受け入れ態勢ができていない	○合同入社式 ・釧路地域の企業を対象として入社式開催 ○受け入れ態勢の研修会 ・就業規則、社員教育のノウハウ	○合同入社式 10社 20名の新入社員の参加 開催 2018年3月下旬 ○研修会の開催 年間に3回程度の予定 2017年度後半
中途採用ができない	中途求職者採用合同企業説明会	2017年8月
	外国人労働者採用の事例勉強会	2017年中旬
	女性スキルアップ再就職支援講座	○参加 20名 5名の再就職を目標 8月～9月に実施
	女性限定合同企業説明会	○2017年8月に開催 参加企業 15社 参加数 25名 5名の再就職を目標

◎くしろ支部各部会 2017 年度活動方針(案)-----

《1. くしろ支部青年部》=====

- ①企業のリーダー（青年経営者、後継者、幹部社員、幹部社員候補）として、同友会運動に積極的に参加し、自主的に学びあい、中小企業家同友会の発展をめざします。
- ②くしろ支部青年部例会をみけた会、獺の会、山高会で持ち回り開催します。
- ③企業のリーダーが共に学びあい、時代に要求される総合的な能力を身につけます。
- ④会員同士の「共育」関係、人的ネットワークを通じてより良い企業づくりを目指します。
- ⑤2018 年全道青年部・後継者部会交流会の準備を行います。（2017 年函館開催の参加）

■みけた会（釧路）

- ①みけた会会員の経営の考え方、企業の内容をじっくり学ぶ「本音トーク」例会を開催します。
 - ・同友会の原点に返って、会員の方が1つのテーマについてじっくり語り合う。
 - ・会員企業見学と報告を合わせた例会。
 - ・会員の方から当面の経営の課題、悩みを報告していただき、参加者でアドバイスをするみけた会「社外重役会議」の開催
- ②全道・全国規模の同友会活動、特に、全道青年部交流会や全道経営者“共育”研究集会、青年経営者全国交流会に積極的に参加するよう呼びかけます。
- ③青年部みけた会の存在を会内外にアピールするために、全道の青年経営者を招いてのオープン例会を2回開催します。くしろ支部青年部の例会を釧路で開催します。
- ④新会員の加入は、みけた会の活動に新風を吹き込みます。会内外の方に活動を周知し50名を目標に会員増強を行います。

<2017 年度 年間活動スケジュール>

日程	名称	テーマ	報告者
4月6日	定時総会		
	5月例会	新会員報告&交流例会	2016年度新会員
	6月例会	会員訪問	網おこし等
	7月例会	くしろ支部青年部合同例会&交流例会	
	8月例会	議会又は裁判傍聴例会	
	9月例会	公開例会（釧路地区会と合同）会員増強	旭川等の他支部から
	10月例会	妻子同伴例会	パン作成等
	11月例会	全道青年部・後継者部会交流会 報告（函館）	交流会参加者
	12月例会	新会員報告&望年会	16年又は17年新会員
	1月例会	新会員報告&新年会	16年又は17年新会員
	2月例会	一泊研修会（中標津方面）	獺の会又は山高会
	3月例会	公開例会（釧路地区会と合同）会員増強	札幌支部未知の会

■ 獺（ばく）の会 （南しれとこ）

◇スローガン：個の技を生かし、共に成長しよう！

※活動日は15日を基本とする。

日 時	内容	担当
4/3	獺の会第24回定時総会	
5/15	企画打合せ	-
6月	テーマ：バーチャルトレード（+株式優待の事例）	齊藤貢さん
7月	くしろ支部青年部合同例会 in 釧路	-
8月	テーマ：ユニバーサルデザイン	佐藤学さん
9月	テーマ：裁判員に選ばれたときの心構え	鍛冶孝亮さん
10月	テーマ：SNSの活用	小柳佑樹さん
11月	11/10 全道青年部後継者部会交流会 in 函館	-
12月	望年会	前田隆史さん
1月		枝大樹さん
2月		青山新吾さん
3月		今野朋弥さん

■ 山高会 根室

◇スローガン：ひと・まち・楽しさの可能性探究。そして明日の夢を見る。

《2. あゆみの会》=====

年間スケジュールに基づき、年に6～7回程度の例会を開催します。

- ①新会員募集やオブザーバー参加を広く呼びかけ、あゆみの会の活性化を図ります。
- ②釧路短期大学・佐藤教授を講師に招き、釧路の歴史について学びます。また、釧路短期大学を訪問する例会を企画し、新たな学びを展開します。
- ③弟子屈への移動例会を実施する等、地域を越えた交流を展開します。

《3. マルチメディア研究会》=====

- ①定例的な例会を開催してITの発展に会員が対応できる活動を目指します

年間6回の例会を開催し積極的に学びあい、交流します。

- ・例会は、新しい仲間やオブザーバーが参加しやすいように工夫します
- ・地区会の例会、研修会と連携してオープン例会を開催します
- ・マルチメディア研究会メンバーの発表 ・一泊研修会の開催
- ・釧路高専との連携、AI、スマホのセキュリティー、ネット販売会員報告などを例会の中で学んでいきます。

- ②新しい仲間を募り、マルチメディア研究会の活性化を図ります。

日程	名称	テーマ、内容	講師（報告者）
4月	4月総会	2017年度の活動予定	
6月	6月例会	ここまで来たAI技術（釧路地区会研修会と合同）	専門家
8月	8月例会	GPS、センサー技術、IOTで生活が変わる	会員企業
10月	10月例会	同友会企業のネットショップ報告	会員企業
12月	12月望年会	高専の先生を招いて	高専教員
2月	2月一泊例会	今、スマホのセキュリティーが危ない（中標津）	会員

《4. 釧根農業経営部会》=====

【活動方針】

- ① 企業家を目指す農業者や関連業者が集まり、異業種交流を推進し互いの経験交流を自社の経営に活かす取組みを行う。
- ② 釧根農業経営部会が地域の産業クラスターとしての役割を担い、生産・加工・流通のあらゆる業種が学びあい、釧根地域の活性化を図る。

【活動計画】

- ① 会員の要望に沿った勉強会（セミナー）の定期開催
- ② 農業や関連業種の先進地・先進企業視察
- ③ 農業者の新会員を中心とした、会員企業の理念・経営体験報告、企業見学例会の実施
- ④ 酪農家が家族の為に作るチーズ講座の開催
- ⑤ 地域農業の振興に役立つ活動を展開

◎くしろ支部各同好会の 2017 年度活動方針-----

《1. ノイズ倶楽部》=====

- ① ビアパーティー2017 を成功させましょう。今年度はノイズ倶楽部 10 周年です。
- ② くしろ支部、各地区会の総会や新年交礼会等に参加し親睦交流の活動を盛り上げて参ります

《2. ゴルフ同好会》=====

- ① 計画に基づき、定期的なゴルフ例会を開催し、会員間の交流を深めましょう。
- ② 毎回定員を目指し、積極的に参加しましょう。

【2017 年度スケジュール】

	行 事	日 程	スタート時刻	場 所
1	5 月例会	5 月 26 日（金）	8：30	釧路カントリークラブ 東コース
2	7 月例会	7 月 1 日（土）	10：24	阿寒カントリークラブ
3	8 月例会	8 月 19 日（土）	8：30	釧路カントリークラブ 西コース
4	10 月例会&納会	10 月 21 日（土）	10：06	釧路カントリークラブ 東コース

《3. ツーリングクラブ》=====

- ① 4 回の例会と納会、新年会を実施します。
- ② 今後活動を全道に波及させていきたいという事で、今年度はその足がかりとして札幌支部メンバーに声掛けして例会を実施する方向で活動します。

開催日	活動内容	
2017 年 6 月 18 日（日）	6 月例会	場所：北見・網走方面
7 月 23 日（日）	7 月例会	場所：羅臼・知床方面
9 月 2 日（土）	9 月例会	場所：十勝方面（1泊2日） ※札幌メンバーと合同で実施する方向で調整
9 月 3 日（日）		
9 月 24 日（日）	9 月例会	場所：中札内方面
11 月 18 日（日）	納会	場所：釧路
2017 年 2 月 17 日（土）	新年会	場所：別海

議案第5号. くしろ支部2017年度の予算

○ 2017年度予算(案)の提案

※別紙予算案をご参照ください。

議案第6号. 全道総会代議員の選出

一般社団法人北海道中小企業家同友会第49回定時総会 代議員(案)

於：6月12日(月) 京王プラザホテル札幌 14時

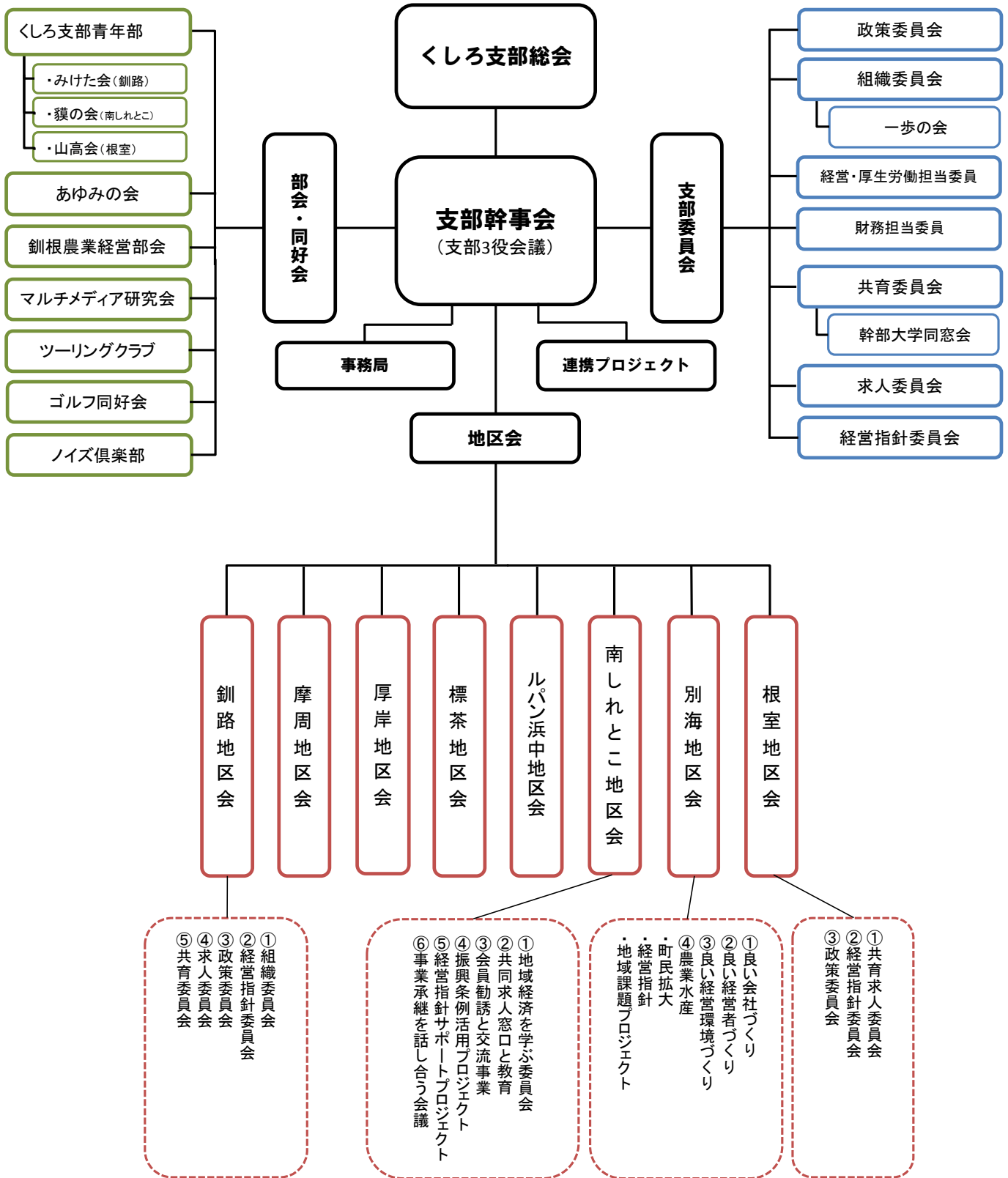
○くしろ支部選出代議員(定数38名)

(氏名五十音順・敬称略)

	氏名	会社名	役職	地区会
1	木内 敏子	(株) ダスキン釧路	代表取締役会長	釧路
2	杉本 眞美	西興建設(株)	代表取締役社長	釧路
3	浅野 葉子	(株) アシスト	代表取締役	釧路
4	佐藤 公一郎	(株) 山一佐藤紙店	代表取締役社長	釧路
5	藤井 芳和	(株) トップオブ釧路	代表取締役	釧路
6	鈴木 圭介	鈴木圭介税理士事務所	税理士	釧路
7	八幡 好洋	(株) プライムネス	代表取締役	釧路
8	酒田 浩之	NPO 法人 和	副理事長	釧路
9	櫻井 英裕	リプラス(株)	代表取締役社長	釧路
10	大久保 芳直	(有) 道東暖熱工業所	代表取締役	釧路
11	長江 勉	長江建材(株)	取締役会長	釧路
12	曾我部 元親	北泉開発(株)	常務取締役	釧路
13	森川 浩一	(株) オイコス	代表取締役	釧路
14	乗山 徹	ファーストコンサルティング(株)	代表取締役	釧路
15	表 共良	(有) カーショップ オモテ	代表取締役	釧路
16	福井 克美	(株) トーテック	代表取締役	釧路
17	亀岡 孝	総合設備(株)	代表取締役	釧路
18	雨宮 慶一	雨宮印刷(株)	代表取締役	南しれとこ
19	青山 隆志	(有) 青山商会	代表取締役	南しれとこ
20	日下 雪夫	(株) 津村測量設計	代表取締役	南しれとこ
21	渡辺 政之	(有) ワタナベ葬儀社	常務取締役	南しれとこ
22	加藤 昌之	(有) バースコム	代表取締役	南しれとこ
23	葭原 聡	釧根開発(株)	取締役総務部長	南しれとこ
24	山口 寿	富田屋(株)	代表取締役	別海

25	高橋 宗靖	(株) 高橋工業	代表取締役	別海
26	鈴木 尚寿	(有) 鈴木建設興業	代表取締役	別海
27	森川 一郎	(株) 森川商店	代表取締役	別海
28	外村 武	(株) ほくえい	代表取締役	別海
29	坂巻 秀敏	坂巻歯科医院	院長	根室
30	千葉 武	日本郵便 (株) 根室有磯郵便局	局長	根室
31	成澤 則充	(株) ナリテツ	代表取締役社長	厚岸
32	中島 健洋	(有) 平良木新聞店	常務取締役	厚岸
33	近藤 明	(株) 近藤建設	代表取締役	摩周
34	小林 浩	(有) 小林自動車整備工場	代表取締役	標茶
35	佐藤 紀寿	(株) サトケン	代表取締役	標茶
36	出口 将平	(株) 丸物出口興産	代表取締役	ルパン浜中
37	澤辺 慎也	サワベスタジオ	映像事業部室長	ルパン浜中
38	石橋 榮紀	浜中町農業協同組合	代表理事組合長	ルパン浜中

2017年度 くしろ支部組織図



資料 根釧に広がる同友会

くしろ支部合計会員：684社

(2017年3月31日現在)

南しれとこ地区会

(標津、中標津、羅臼)

会員数：(68社)

別海地区会：

会員数(82社)

◆条例制定自治体
中標津町、別海町



釧路地区会

(釧路市、釧路町、鶴居村、白糠町、音別町)

会員数(359社)

厚岸地区会 (30社)

摩周地区会 (25社)

標茶地区会 (27社)

ルパン浜中地区会 (28社)

◆条例制定自治体

釧路市、厚岸町、弟子屈町

根室地区会

会員数：65社

◆条例制定自治体

根室市